

こうち福祉だより

349号
平成28年8月
(2016年8月)
河内地区社会
福祉協議会発行

こうちっ子体験スクール報告

地域の魅力を再発見

今年で12回目となる「こうちっ子体験スクール」が、7月7日より2泊3日の日程で行われ、河内小学校の4～6年生の児童、定員24名に対して31名もの参加がありました。

1日目の夜は、4作目となる「千蔵地蔵」の紙芝居を見て、災害の恐ろしさと対応を学び、2日目の夜は、今回の体験学習で訪ねる「中郷・古野・野登呂」に関するお話を聞きました。

3日目は、今年初めて小学校の土曜授業として4～6年生全員一緒に、中郷・古野・野登呂の史跡を訪ね、ISCリサイクルセンターを見学の後、ゴールの河内小学校を目指しました。曇天が幸いしたのか、約7km(約1万2千歩)を歩き切りました。学校では女性会の方が作ってくださったカレーライスをみんなでおいしく頂きました。子どもたちが、河内のことをたくさん知って、もっと好きになってくれることを願っています。

説明山

実行委員長

藤井利宏



地域体験学習を通して

河内小学校 教諭 松田剛志

こうちっ子体験スクールは、子どもたちの郷土愛を高めるために有意義な活動であったと思います。歴史あふれる河内地区の様々な史跡の散策を行い、地域の方の説明を聞くことやリサイクルセンターの見学を通して、私自身、河内の歴史やくらしに関わる施設について知ることができ、学びの多い時間となりました。

ただ、さらに教育的効果を高めるためには、子どもたちに見学する場所についての事前指導をする必要があったように思います。事前にできるだけ多くの情報を集めさせることで子どもたちは知的欲求をもって活動に取り組み、より深い学び、深い理解へとつながっていくのだと思います。

活動を行うにあたって地域の皆様には多大なるご支援ご協力を頂きました。大変感謝しております。河内小学校は学校の中だけではなく「地域も含めて学校だ」と改めて感じるこのできる一日でした。有難うございました。

こうちっ子体験スクールはみ出し記事

こうちっ子体験スクールに申し込みますと、事前研修会があり、その中で班・班長や目標決め、ごはんのメニューを考えます。今年は4つの班が出来、献立は河内で採れる野菜を3つ以上入れて2回の夕食・朝食の献立をみんな決めてました。



焼きそばの調理中

当日はフレスタへの買い物や調理はもちろん、片付けも自分たちで行います。今年のメニューは(給食で好評だったから)フルーツポンチが人気でした。2日目の夕ご飯はバイキング形式で楽しい食事になりました。お風呂は窓山荘に入りに行きます。夜寝るのは、公民館です。男子は1階、女子は2階ですが、今年は人数が多かったの、女子は和室に入らず、男子と同様に床にマットを敷いて寝ました。ヒソヒソ声で女子は恋話(コイバナ)が、男子は「思春期は嫌だな」と聞えたとか：一緒に寝ている大人が先に寝て、いびきがうるさかったとの情報もありました。お疲れさまでした。



バイキング形式にしてみんなで食べています



災害時に関する取り組み

近年の異常気象により、災害が頻繁に発生しており、災害時の対応が地域の大きな課題となっています。

河内地区においても、6・29を教訓にマニュアルを作り、避難訓練が実施されています。その中で、災害時要援護者の方の避難対応を地域諸団体と力を合わせ、連携して取り組んでいます。これからも住民のみなさんが安心して暮らせるまちづくりを目指します。



河内地区民児協

8月の行事

- 1日(月) 売却資源ゴミ収集日
- 2日(火) 転倒予防教室(魚切)
- 7日(日) 敬老会準備委員会
- 9日(火) 転倒予防教室(魚切)
- 12日(金) まごころ弁当
- 14日(日) 盆踊り大会
- 15日(月) 売却資源ゴミ収集日
- 17日(水) 社協部長会・会報委員会編集会議
- 22日(月) 転倒予防教室(魚切)
- 23日(火) まごころ弁当
- 26日(金) まごころ弁当

ほっとサロン

今月は、15日(月)がお盆休みです。

